

株主メモ

事業年度 4月1日から翌3月31日まで
 定時株主総会 6月
 株主確定日 定時株主総会・期末配当金 3月31日
 中間配当金 9月30日
 上場証券取引所 東京(第一部)
 証券コード 2871
 株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都中央区八重洲一丁目2番1号
 みずほ信託銀行株式会社
 同連絡先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
 フリーダイヤル 0120-288-324 (受付時間:9:00~17:00(土・日・祝日を除く))
 公告方法 電子公告により行います。公告掲載場所は当社のホームページ<http://www.nichirei.co.jp/>とします。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告を行うことができない場合は、日本経済新聞に公告を掲載します。

株式事務に関するご案内

証券会社等に口座をお持ちの株主様

郵送物送付先 お取引の証券会社等になります。
 および 電話お問合せ先
 各種手続き お取扱店 同上
 お手続き内容 住所変更、氏名・名称・代表者の変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相談など
 未払配当金の お支払 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
 みずほ銀行 本店および全国各支店
 (みずほインベスターズ証券では取次のみとなります)

特別口座に記録されている株式をお持ちの株主様

郵送物送付先 〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
 および みずほ信託銀行 証券代行部
 電話お問合せ先 フリーダイヤル 0120-288-324
 (受付時間:9:00~17:00(土・日・祝日を除く))
 各種手続き ●みずほインベスターズ証券
 お取扱店 本店および全国各支店
 プラネットブース(みずほ銀行内の店舗)
 ●みずほ信託銀行
 本店および全国各支店
 お手続き内容 住所変更、氏名・名称・代表者の変更、単元未満株式の買取・買増請求、配当金受取り方法のご指定、相談など
 未払配当金の お支払 みずほ信託銀行 本店および全国各支店
 みずほ銀行 本店および全国各支店
 (みずほインベスターズ証券では取次のみとなります)
 ご注意 特別口座では、株式の売却はできません。売却するには、証券会社等にお取引の口座を開設し株式の振替手続きが必要となります。また、みずほインベスターズ証券で単元未満株式の買増請求手続きをされる場合は、事前にみずほ信託銀行が指定する口座に送金していただく必要があります。

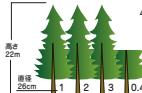


Vol.28

第94期 グループ報告書
 2011年4月1日~2012年3月31日



この印刷物は、印刷プロセスで使用する4.68kgのアルミ板をリユースして印刷することで、
CO2排出量を47.62kg削減しました。



47.62kgのCO2削減量は、樹齢50年(高さ22m・直径26cm)の杉の木約3.41本分が1年間に吸収するCO2量に相当します。(出典:林業白書)



PROJECT- With the Earth
 この冊子の印刷・製本に係るCO2はPROJECT- With the Earthを選定してオフセット(相殺)しています。

「おいしさ」と「新鮮」をネットワークする。

ニチレイは、品質へのあくなきこだわりと、培われた技術、新しいアイデア、グループ全体のネットワークによって、新鮮で、健康なおいしさをお届けし、笑顔のあふれる食卓を創り出していきます。

Contents

株主の皆様へ	2
トップインタビュー	3
新社長紹介	7
表彰	8
連結決算ハイライト	9
セグメント別概況	10
連結決算概要	12
株主還元と期末配当金について	14
ニチレイECO	15
FOCUS	17
Key Word	18
ニチレイフーズの食育	19
Introduction	20
株式の状況	21
会社概要	22

くまがい
熊谷 まちこ氏
山口県下関市生まれ。著書は「ともだち ふやそ」「白い風とりんごの花」「おっぴがいっぱい」「しょうじょのあかり」など多くの絵本を出版している。
個展も精力的に開催しており、ピンポイント・ギャラリー(青山)、八重洲ギャラリー(東京)など多数行われている。

株主の皆様へ

第94期グループ報告書をお届けするにあたり、日頃のご支援に心から厚く御礼申し上げます。

当期のわが国経済は、東日本大震災の影響による落ち込みから回復基調にありましたが、欧州における財政・金融不安は収束せず、海外経済の減速や円高により輸出産業が低迷するなど、景気回復は足踏みの状態にあります。また、個人消費は持ち直しの動きが見られますが、大幅な需給ギャップの解消には至らず、デフレ傾向は続いています。

食品・物流業界におきましては、震災以降も内食・中食向けの需要は拡大し、円高により食料・原油の輸入価格の上昇は緩和されているものの、生活者の低価格志向の定着や供給量の回復などから企業間の販売競争は激化しています。また、原発事故の影響は残り、鶏肉や冷凍野菜などの食品輸入量は増加する

一方で、荷主の物流体制見直しや物流費抑制の動きが進み、今後は夏場の電力不足やエネルギーコストの上昇も懸念され、企業を取り巻く環境は一層厳しい状況にあります。

ニチレイグループは持続的成長の実現に向けて、傘下の基幹事業会社の成長戦略構想を織り込み、グループ中期経営ビジョン「GROWTH 2016」を策定しました。

今後は、この「GROWTH 2016」をもとに次期グループ中期経営計画(2013～2015年度)を策定・実行し、当社グループの企業価値の向上に取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2012年6月吉日

グループミッション・ビジョン

ミッション【使命・存在意義】

くらしを見つめ、人々に心の満足を提供する。

ビジョン【めざす姿】

ニチレイグループは、卓越した食品と物流のネットワークを備える「食のフロンティアカンパニー」として、お客様にご満足いただける優れた品質と価値ある商品・サービスを創造・提供し、広く好感と信頼を寄せられる企業として、社会とともに成長します。



代表取締役会長 浦 聖 光 人
代表取締役社長 村 井 利 彰

中期経営計画“energy 2012”（2010年度～2012年度）で掲げた施策を着実に実行し、最終年度の計画達成をめざすとともに、中長期的な成長を見据えた取組みに注力します。

中期経営計画“energy 2012”（2010年度～2012年度）の最終年度となる2012年度に向けての決意などを村井代表取締役社長にインタビューしました。



代表取締役社長 **村井 利彰**

Q 中期経営計画“energy 2012”（2010年度～2012年度）の2年目「ステップの年」を振り返り、どのように評価されていますか。

2011年度は、東日本大震災の影響が残るなか、原材料価格の上昇や不動産事業における賃貸オフィスビル契約の変更の影響などを見込み、売上高4,422億円、営業利益140億円を計画してスタートしましたが、加工食品事業や低温物流事業の大型投資の成果などもあり、売上高は4,549億円と前期比171億円の大幅な増収となり、営業利益は加工食品事業が好調に推移したことなどにより161億円と計画を上回り着地することができました。

事業別の状況ですが、加工食品事業は、肉食・中食市場向けにマーケットニーズにあった商品をご提供し、市場の伸びを上回る大幅な増収を達成しました。この増収効果に加え、生産面での改善や固定費の削減で原材料コストの上昇を吸収し、営業利益も前期を上回りました。

また、増収の牽引となったチキン加工品は、タイに合併で設立した生産拠点であるGFPTニチレイ（タイランド）社（以下、GFN社）の1日あたりの処理羽数が当初目標に達し、安定した原料の供給体制が整いました。

水産・畜産事業においては、需給環境が安定せず難しい舵取りを余儀なくされましたが、「こだわり素材」や加工品の取扱い拡大に注力しました。水産事業は、えびの供給不足が響き減益となりましたが、畜産事業は、素材品の採算性が改善し増益となりました。

低温物流事業は、新設センターやTC事業（通過型センター）の貢献により大幅な増収を達成し、利益面では減価償却費の増加や震災による東北地区の物量

減少の影響はありましたが、増収効果や海外事業の好調が寄与し前期を上回ることができました。

Q 中期経営計画“energy 2012”（2010年度～2012年度）の最終年度の見通しおよび今後の課題・経営戦略についてお聞かせください。

世界経済は、欧州政治の不透明感により債務問題がさらに深刻化し、新興国経済への影響も危惧されます。国内においては、復興需要が期待されますがデフレ脱却の道筋は見えず、世界的な食料需要増大に伴う原材料価格の上昇懸念、電力不足への対応などもあり経営環境は引き続き厳しい状況で推移するものと思われま。そうしたなかで、当社グループは環境変化や顧客ニーズに迅速に対応するとともに、これまで積極的に実施した投資の成果をあげることに注力し、グループ全体で増収・増益をめざします。

加工食品事業ではGFN社の収益改善、低温物流事業では東扇島物流センターの採算性改善と同センターの2期棟増設に向けた集荷の拡大など、早急

に取り組むべき課題があり、2012年度の計画達成の重要なポイントになります。ただ、それぞれの事業で課題は残りますが、厳しい環境のなか事業全体では順調に推移しており、現中期経営計画の折り返し地点を過ぎたところで、グループの中期的な経営ビジョンを示した「GROWTH 2016」*を公表しました。施策の詳細については次期中期経営計画に折り込んでいきますが、各事業における成長戦略の実現に向けて、海外展開も積極的に行っていきます。

今般、加工食品事業では、ベトナムの食品企業への出資や、アメリカの食品企業の買収を決定しました。ベトナムは高い経済成長のもと、今後加工食品市場が拡大すると見込んでいます。アメリカでは、アジア・フーズと呼ばれる食品カテゴリーが大きく成長しており、有望な市場であると考えています。海外進出にあたっては、食文化の違いなどもあり現地パートナーとの提携が欠かせません。今回資本参加する企業は、現地市場において確かな商品力や販売力を持っており、今後の相乗効果が期待できます。

*GROWTH 2016：ニチレイグループWebサイトに掲載しています。是非、ご覧ください。 http://www.nichirei.co.jp/ir/news/2012/t_in103.html

水産事業は、商品の付加価値を高め、相場の変動に左右されにくい体制への再構築に注力します。畜産事業では、「こだわり素材」のフラッグシップである純和鶏事業において、岩手県九戸郡軽米町に養鶏場、加工場の運営会社を設立し、生産基盤の拡大を図ります。

低温物流事業では、首都圏や関西圏の庫腹状況はひっ迫していますが、保管能力のみならず物流効率化や多様なサービスへのニーズなど、お客様からの引き合いは旺盛にあります。このため、将来に備え老朽化した設備の更新や、高度な物流品質の提供など競争力強化につながる設備投資は今後も積極的に行っていきます。海外では、西欧地域でさらなるシナジーを追求する一方で、東欧地域での事業基盤構築に注力し、一層の収益拡大を図っていきます。また、中国では取扱い物流の増加により、上海地区に第二センターを増設し、本年4月より稼働しました。

Q 今回新たな社外役員の方々が選任されましたが、ニチレイグループのコーポレート・ガバナンス体制についてお聞かせください。

今回は、新しく4名の社外役員の方々をお迎えします。それぞれ独立した立場から専門分野や幅広い見識を活かし、経営への参画や監督機能を十分発揮していただくと期待しています。経営体制の強化・充実と適正かつ有効な監査体制を図るため、取締役1名、監査役1名を増員し、あわせて取締役11名、監査役5名により、当社グループの企業価値最大化に向けたコーポレート・ガバナンスの強化につとめてまいります。

Q 最後に株主の皆様へ向けてのメッセージをお願いします。

中期経営計画“energy 2012”（2010年度～2012年度）で描いた持続的成長に向けて実施した投資の成果が現れ始めており、事業面では概ね順調に



推移しています。

株主還元においては、現中期経営計画期間中に予定していた通り15百万株の自社株買いを実施しました。また、今期は1円増配し年間10円配当を予定しています。今後も安定的な配当を実施するとともに、機動的な株主還元を検討していきますので、株主の皆様におかれましては、引き続き温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

松田 浩

株式会社ニチレイロジグループ本社 (低温物流事業)

食品物流No.1をめざして

私たちニチレイロジグループは、「食品の物流を通じて、生活者の暮らしに貢献する」というミッションのもと、ブランドスローガン「選ばれつづける仕事」を旗印に、お客様や社会からの期待に応える物流サービスの提供に日々努めています。

私たちが国内外で提供している物流サービスの、『食』を支えるベースインフラとしての責任を全従業員一人ひとりが自覚し、これまで築き上げてきた独自性に磨きをかけ、変革すべきところは

勇気を持って変革し、常に社会と生活者に真正面から向き合うことで、広く好感と信頼を寄せられる企業でありたいと願っています。

「生活者のライフスタイルの多様化」、「食の安全・安心意識の高まり」、「環境対応」といった社会的要請に応え、地球環境や社会にとってより効率的で高品質な物流サービスを常に提供していくことで、質・量ともに食品物流No.1となり、ニチレイグループの企業価値増大に貢献することをめざしてまいります。



代表取締役社長

中村 隆

株式会社ニチレイバイオサイエンス (バイオサイエンス事業)

新たな価値の創造をめざして

私たちニチレイバイオサイエンスの事業領域は、細胞培養関連事業と、機能性素材・化粧品事業です。細胞培養関連事業においては、人の免疫力に注目し、癌をはじめとする病気に対して抗体を用いた治療が盛んに行われるようになってきました。私たちは、その治療^{ついで}として必要となる「診断」と、抗体そのものを生産する「材料」を高い品質とシステムで提供しています。

また、機能性素材・化粧品事業はニチレイグループの素材調達力を背景に、素材の持つ優位な

機能性を引き出し、その価値を提供しています。

抗体医薬は、癌などの病気に対して多くの治験が行われており、将来的に主要な治療法となることが期待されています。この成長が期待される医療関連分野で、私たちの強みである「診断」と「材料」にますます磨きをかけて、これらの病気で悩んでおられる方々に対し、新しい医療の可能性、新しい価値の提供を実現していくことが、私たちニチレイバイオサイエンスの喜びです。



代表取締役社長

大谷 邦夫

株式会社ニチレイプロサーヴ (シェアードサービス)

ニチレイグループの持続的成長を支える集団へ

ニチレイグループは「暮らしを見つめ、人々に心の満足を提供する」とのミッションに基づき、皆様の健康で心豊かな生活の実現に日々努めています。

グループの事業会社が加工食品や素材品、食品物流といったそれぞれの事業領域で、その独自能力を発揮してお客様の価値創造に取り組むなか、私たちニチレイプロサーヴは人事・総務・法務・経理・財務などの企業インフラ機能サービスをグループ企業に提供することで、ニチレイグループの持続的な成長の一翼を担ってまい

りました。今後もプロフェッショナルな人材の育成や事業支援業務の質的な強化を進めるとともに、「明日は今日と同じとは限らない」という認識のもと、グローバルな環境変化にも機敏に対応できる組織運営、ダイナミックな施策展開を図っていく所存です。また、中期経営計画“energy 2012”の最終年度を迎え、ニチレイプロサーヴに期待される高い専門性の提供を通じて、グループ計画目標の達成に寄与してまいります。

表彰

第10回グリーン物流パートナーシップ会議にて経済産業省商務流通審議官表彰を受賞

2011年12月13日、第10回グリーン物流パートナーシップ会議において、(株)ロジスティクス・ネットワークは、4社共同(他(株)関西スーパーマーケット様、(株)関西スーパー物流様、伊藤忠食品(株)様)の取組みにより、経済産業省商務流通審議官表彰を受賞しました。

(株)ロジスティクス・ネットワークは、(株)関西スーパーマーケット様尼崎センターにて、日配品・青果物・精肉等低温商品の物流業務を担っています。今回の表彰は、発注から配送までの一括管理や専用コンテナの導入による配送便数の削減ならびに積載効率の向上等、継続的

な物流効率化により、CO₂排出量を大幅に削減した功績(4社共同の取組み全体で、CO₂排出量を2001年比16%削減)に対するものです。

受賞を機に、「継続」と「効率」の重要性を改めて認識しました。この取組みで培ったノウハウを積極的にお客様にご紹介し、CO₂排出量削減に貢献していきたいと思っております。



授賞式
手前左：(株)ロジスティクス・ネットワーク社長 秋山真人

連結決算ハイライト

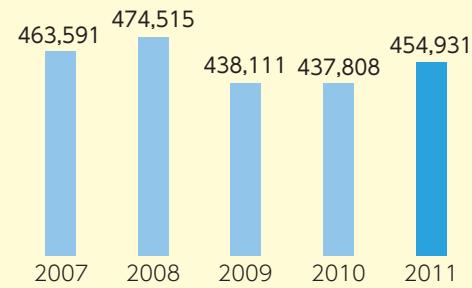
当期の売上高は、調理冷凍食品の販売が好調に推移した加工食品事業、新設センターや海外事業が貢献した低温物流事業が増収・増益となったものの、不動産事業における賃貸オフィスビルの契約変更の影響が響き、グループ全体では、4,549億31百万円（前期比3.9%の増収）、営業利益は、161億77百万円（前期比3.0%の減益）となりました。これに加えて、

営業外費用が増加したことなどから経常利益は、152億50百万円（前期比5.4%の減益）となりました。

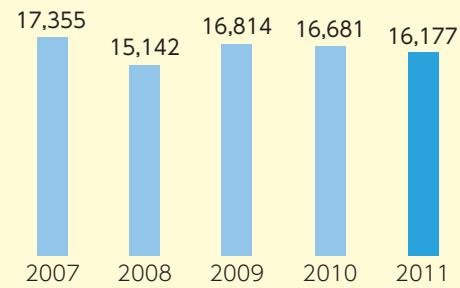
特別利益は、固定資産売却益など総額13億8百万円となる一方、特別損失は、投資有価証券評価損6億21百万円などを計上し、総額23億33百万円となりました。

以上により、当期純利益は、79億4百万円（前期比95.5%の増益）となりました。

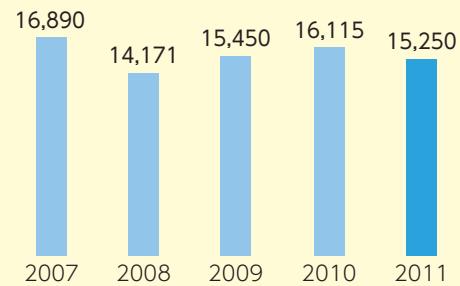
売上高 (年度/単位: 百万円)



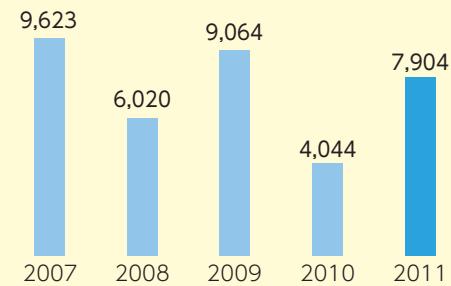
営業利益 (年度/単位: 百万円)



経常利益 (年度/単位: 百万円)



当期純利益 (年度/単位: 百万円)



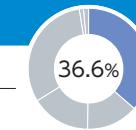
セグメント別概況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

● 連結子会社数 75社 ● 持分法適用関連会社数 16社

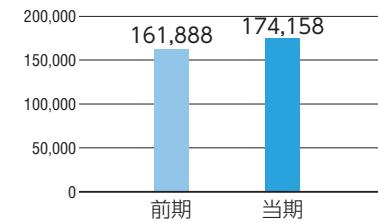
加工食品事業

売上高構成比



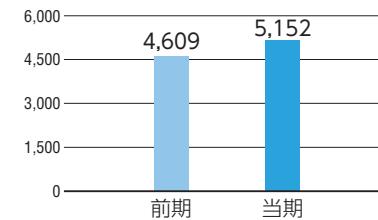
売上高

(単位: 百万円)



営業利益

(単位: 百万円)

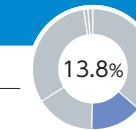


業績のポイント

- 震災後の内食需要増加などにより調理冷凍食品の販売が好調に推移し大幅な増収
- 製品・原材料の調達コスト上昇などの影響を増収効果や生産における歩留まりの向上、固定費の削減などで吸収し増益
- 調達から生産、販売に至る食品メーカーとしての機能のさらなる強化に向けてタイに設置したチキン加工品の生産拠点では、安定した原料の供給体制が整う

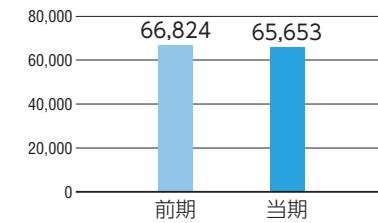
水産事業

売上高構成比



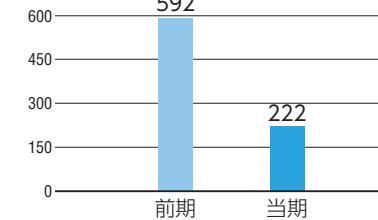
売上高

(単位: 百万円)



営業利益

(単位: 百万円)

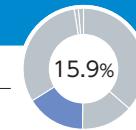


業績のポイント

- 水産商材の最適加工への取組みは順調に推移し、利益確保のために採算性を重視した慎重な調達・販売を進めたものの、産地価格が高値で推移したことが響き減収・減益

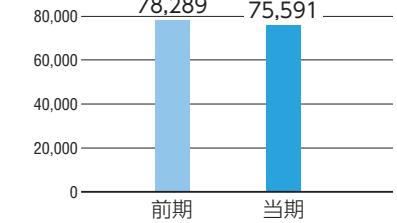
畜産事業

売上高構成比



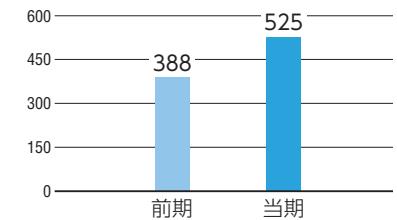
売上高

(単位: 百万円)



営業利益

(単位: 百万円)



業績のポイント

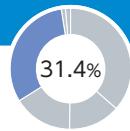
- 市況や需給の変動に対応した慎重な買付け・販売を進めたことにより、売上げは前期を下回る
- 鶏肉を中心とした加工品の販売に注力するとともに、素材品の採算性が改善したことなどから営業利益は前期を上回る
- 「純国産鶏種 純和鶏」の取扱い拡充と国内生鮮チキンの供給体制の強化をめざし、岩手県九戸郡軽米町に養鶏場、加工場の運営会社を設立

セグメント別概況

(注) 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。

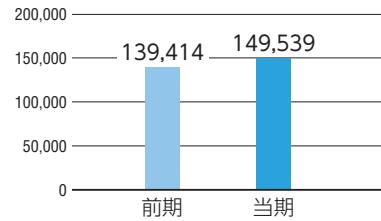
低温物流事業

売上高構成比



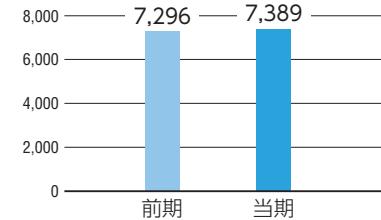
売上高

(単位: 百万円)



営業利益

(単位: 百万円)

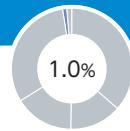


業績のポイント

- 物流ネットワーク事業および地域保管事業での新設物流センターの順調な稼働や新規顧客獲得など売上げを拡大するとともに、欧州地域における主力商材の在庫増加と運送需要の着実な取り込みなどにより増収
- 新設物流センター稼働による減価償却費負担や震災による一時的なコスト増加があったものの、増収効果とコスト削減により増益

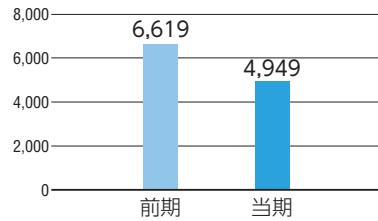
不動産事業

売上高構成比



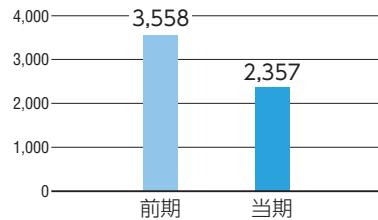
売上高

(単位: 百万円)



営業利益

(単位: 百万円)

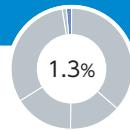


業績のポイント

- 競争力の強化および安定収益確保のため、賃貸オフィスビルのリニューアル工事や省エネルギー工事を実施したものの、サブリース契約から建物賃貸借契約への変更に伴う収入減少などにより減収・減益

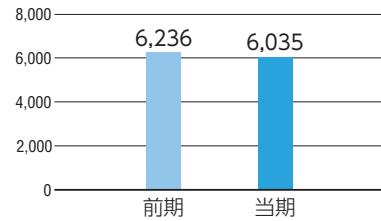
その他の事業

売上高構成比



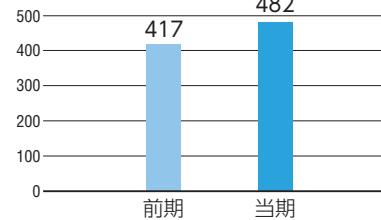
売上高

(単位: 百万円)



営業利益

(単位: 百万円)



業績のポイント

- バイオサイエンス事業は、組織染色製品が好調に推移したことなどから増収・増益、その他の事業全体では減収・増益

連結決算概要

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2. ポイントにおける記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)

区 分	当 期	前 期
	2012年3月31日現在	2011年3月31日現在
流 動 資 産	115,492	103,180
固 定 資 産	175,045	181,381
有 形 固 定 資 産	138,113	143,466
無 形 固 定 資 産	5,551	5,971
投 資 そ の 他 の 資 産	31,380	31,943
資 産 合 計	290,537	284,562
流 動 負 債	84,152	110,328
固 定 負 債	87,685	56,485
負 債 合 計	171,837	166,813
株 主 資 本	116,578	115,047
資 本 金	30,307	30,307
資 本 剰 余 金	23,709	23,709
利 益 剰 余 金	68,434	63,254
自 己 株 式	△5,873	△2,224
その他の包括利益累計額	252	10
少 数 株 主 持 分	1,869	2,690
純 資 産 合 計	118,700	117,748
負 債 純 資 産 合 計	290,537	284,562

貸借対照表のポイント

(括弧内は前期末比の増減)

POINT

総資産 2,905億円 (59億円の増加)

- 流動資産 123億円の増加
- ・加工食品事業と低温物流事業の大幅な増収や、期末の金融機関休業日の影響により売上債権は79億円増加
- ・販売拡大に備えて冷凍食品の調達を進めたことなどによりたな卸資産は55億円増加
- 固定資産 63億円の減少
- ・大型投資の一巡により前期に比べ設備投資が減少したことや、大型投資に伴い減価償却費が増加したことなどにより有形固定資産は53億円の減少

負債 1,718億円 (50億円の増加)

- ・売上げの増加や期末の金融機関休業日の影響により仕入債務は39億円、未払費用は24億円の増加
- ・震災後の復旧処理が完了し災害損失引当金19億円を取り崩し
- ・長期の安定資金確保のため200億円の社債発行と160億円の長期借入れを実施(固定長期適合比率は84.8%)

純資産 1,187億円 (9億円の増加)

- ・当期純利益79億円の計上、配当金の支払い27億円などにより利益剰余金は51億円増加
- ・バランスの取れた資本政策を機動的に実施するため、自己株式10,298千株を36億円で取得

有利子負債のポイント

POINT

長期の安定資金確保のため、社債発行と長期借入れを実施する一方で、短期借入金とコマース・ペーパーでの調達を減らしました。

有利子負債の状況 (単位: 百万円)

	2010年度	2011年度
短期借入金	29,549	12,134
コマース・ペーパー	13,000	5,000
社債	-	20,000
長期借入金	29,930	37,698
リース債務	24,498	22,991

連結決算概要

(注) 1. 記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しています。
2. ポイントにおける記載金額は億円未満を切り捨てて表示しています。

連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

区 分	当 期 2011年4月 1日から 2012年3月31日まで	前 期 2010年4月 1日から 2011年3月31日まで
売 上 高	454,931	437,808
売 上 原 価	368,012	350,442
売 上 総 利 益	86,918	87,365
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	70,741	70,684
営 業 利 益	16,177	16,681
営 業 外 収 益	2,025	1,939
営 業 外 費 用	2,952	2,505
経 常 利 益	15,250	16,115
特 別 利 益	1,308	5,123
特 別 損 失	2,333	12,378
税 金 等 調 整 前 当 期 純 利 益	14,225	8,860
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	5,519	4,285
法 人 税 等 調 整 額	886	486
少 数 株 主 損 益 調 整 前 当 期 純 利 益	7,819	4,088
少 数 株 主 利 益 又 は 少 数 株 主 損 失 (△)	△ 85	44
当 期 純 利 益	7,904	4,044

損益計算書のポイント

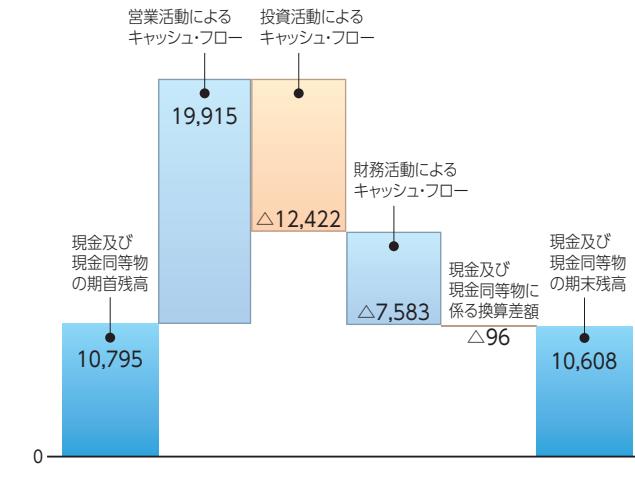
(括弧内は前期比の増減)

POINT



連結キャッシュ・フローの状況 (2011年4月1日から2012年3月31日まで)

(単位:百万円)



キャッシュ・フローの状況のポイント

POINT

- 営業活動によるキャッシュ・フロー 199億円の収入**
○経常利益は152億円、減価償却費は149億円を計上する一方、法人税等の納付、売上げ増加などによる営業資金(売上債権・たな卸資産・仕入債務)や震災復旧関連の支出などにより、199億円の収入
- 投資活動によるキャッシュ・フロー 124億円の支出**
○有形固定資産の取得による支出などにより、124億円の支出
- 財務活動によるキャッシュ・フロー 75億円の支出**
○長期の安定資金確保のため社債発行と長期借入れを実施する一方、短期借入金の返済、コマーシャル・ペーパーの償還、自己株式の取得や配当金の支払いなどにより、75億円の支出
以上により、現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ1億円減少し106億円となりました。

株主還元と期末配当金について

現中期経営計画中に予定していた自己株式の取得(15百万株)は完了しました。今後も、財務状況や株価の推移などを勘案しつつ、機動的に自己株式の取得・消却を検討します。

配当方針に関しては従来どおり、連結株主資本配当率(DOE)*12.5%、連結配当性向*225%を目標とします。

当期の期末配当金につきましては、上記の方針のもと、1株につき5円とさせていただきます。これにより、中間配当金4円を含めた年間配当金は、1株につき9円となります。

※1 連結株主資本配当率(DOE)=配当総額÷(連結純資産-少数株主持分)

※2 連結配当性向=配当総額÷連結純利益



ニチレイグループは、環境保全活動を継続的に推進しています。

ニチレイグループでは、グループ環境方針のもと、3つの重点課題(地球温暖化防止、持続可能な資源循環の推進、自然との共生)に取り組んでいます。その中で、事業所から直接排出されるCO₂量や廃棄物については、グループ全体の中期目標を策定し、取り組んでいます。

2011年度取組み状況

地球温暖化防止

気候変動の影響を大きく受ける“食”に関わる企業グループとして、食品工場や物流センターなどの事業所から直接排出されるCO₂の削減に取り組むとともに、事業内容との関わりを考えながら各事業会社が重点課題を設定し、サプライチェーン全体でのCO₂削減に取り組んでいます。

2011年度のグループCO₂総排出量は2009年度比で0.5%の増加となり、2011年度目標の2%削減が未達成でした。各事業所における従来の削減活動に加え、夏季の節電への取組みがCO₂排出量の削減に寄与しましたが、事業所の新設、自家発電燃料の使用、生産量の増加などによるCO₂排出量の増加がこれを上回りました。

2012年度は、電力供給のさらなる逼迫も予想されることから、運転管理の見直しと徹底、省エネルギー対応設備の導入、夏季のピークカット対応などに取り組んでいきます。



(注) 1. 上記は、CO₂排出のための算出係数を2009年度に固定した場合(グループ目標管理は固定で実施)です。地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき算出した場合は6.1%減となります。
2. 2009年度に対して事業所の増加や生産量の増加により約11,000t増加していると推定されます。
3. 昨年度の報告値に誤りがあり、一部修正しています。

グループ中期目標

グループ(国内)のエネルギー起源CO₂排出量

2012年度
2009年度実績比 **3%削減**

*国内の事業所および所有車両で使用するエネルギー
*購入電力由来のCO₂算出係数は2009年度固定

主な活動

- 調達：牛のメタンガス排出抑制
- 食品工場：太陽光発電、LED照明など新たな省エネルギー設備導入、熱回収によるエネルギー再利用
- 物流センター：新規センター・増設センターのLED照明や自然冷媒への転換
- オフィス：パソコンの省エネルギーモードへの一律設定、電気自動車の使用、サマータイムの実施、クールビズの実施(5月～10月)
- 物流：関西地区の共同物流の取組みが経済産業省商務流通審議官表彰を受賞(P.8参照)
- 商品：包装資材の軽量化・小型化
- その他：LC(ライフサイクル)-CO₂の把握

持続可能な資源循環の推進

ニチレイグループでは、限られた地球上の資源をできるだけ継続的に利用していくために、サプライチェーン全体での廃棄物の発生抑制、再利用、再資源化に取り組んでいます。

また、生物資源を効率的に無駄なく使うことや使い切ることができなかったものも飼料、肥料などに再利用するなど、資源として循環させることに注力しています。

<事業所から直接排出される廃棄物の削減>

各事業会社が、リサイクル活動を推進したことにより、2011年度のリサイクル率は99.6%となりました。廃棄物発生の抑制も含め、さらなる削減に取り組んでいきます。



従業員の家庭における節電キャンペーンの実施

家庭での節電を推進するため、電力使用量削減目標を達成した従業員に、ニチレイグループの商品を提供する節電キャンペーンを実施しました。

夏季のキャンペーンでは東京電力・東北電力管内にて実施し、冬季では全国に範囲を広げました。夏季と冬季合わせて、参加従業員家庭全体で約121,000kWhの電力使用量を削減しました。2012年度も従業員向けの啓発活動を継続していきます。

ニチレイグループWebサイトに『ニチレイグループCSRレポート 2012』を掲載しています。是非、ご覧ください。

<http://www.nichirei.co.jp/corpo/env/index.html>

グループ中期目標

食品工場、物流センターから排出される
廃棄物リサイクル率

99%の達成・維持

主な活動

- 調達：未利用魚を活用した水産加工品の生産、パンの耳を飼料化し環境負荷を低減する「エコポーク」の開発、野菜を100%使い切り無駄な廃棄を発生させない取組み
- 食品工場：動植物性残さの発生抑制、再資源化、エコフィード(工程残さを再利用して作る飼料)、廃食用油を燃料へ再利用
- 物流センター：プラスチック等包装資材の発生抑制、再利用、再資源化
- オフィス：ごみの分別、紙の再利用・リサイクル、マイはしエコ運動
- 商品：包装資材の軽量化・小型化



お弁当にGood!シリーズの「パリパリの春巻」で、包装フィルムの長さを2%短くしました

FOCUS

福岡東浜物流センター



◀1階荷捌スペース
広いスペースを
活かして各種作業
に対応

鹿児島曾於物流センター



◀凍結室
能力：100t/日
(20t/日×5室)

ニチレイ・ロジスティクス九州 福岡東浜物流センター・ 鹿児島曾於物流センターが新設稼働

福岡東浜物流センター(福岡市東区)は2010年8月に、鹿児島曾於物流センター(鹿児島県曾於市)は2011年9月に、それぞれ九州と全国をつなぐニチレイ・ロジスティクス九州の基幹センターとして稼働しました。

福岡東浜物流センターは、高速道路に至近の利便性を活かした効率的な輸配送サービスと、高品質な保管・輸出入・流通機能を兼ね備えた保管・輸配送一体型の複合物流拠点です。38のトラック接車バースと約2,100㎡の広い1階荷捌スペースを備え、九州全域の保管・輸配送から地域商材の全国輸送まで、お客様のニーズに合わせた物流サービスを提供しています。

鹿児島曾於物流センターは、全国でも有数の農産品・畜産品の生産地に隣接するセンターです。地域に密着したきめ細やかなサービスで様々なご要望にお応えしています。特にお客様のニーズが高い凍結能力は、ニチレイロジグループでも屈指の能力を誇り、1室20tずつ5室の凍結室でそれぞれの商品に合わせた最適な凍結加工を同時に提供することが可能です。

今後は、ニチレイロジグループ全国幹線拠点の1つである福岡東浜物流センターを中心に各拠点の連携を一層強化し、心を込めて作られた食材や製品を大切に保管し、九州から全国へ、そして全国から九州へとお届けしていきます。

Key Word

東日本大震災におけるニチレイのグループ支援活動

ニチレイグループでは、『ニチレイグループ社会貢献基本方針』に基づき、災害支援、スポーツ支援など様々な支援活動を行っています。東日本大震災の復興支援の取組みについて、ご紹介します。

石巻・北上中学校での料理講習会～ニチレイフーズ

ニチレイフーズは、2月5日(日)、宮城県石巻市の北上中学校で開催された料理講習会に参加しました。このイベントは、東日本大震災により仮設住宅での生活を余儀なくされている方々が、懇親を深めることで住民間の自立的活動のきっかけづくりとなることをテーマに、北上仮設住宅自治体と北上中学校の主催で開催されました。

石巻北上地区は、NPO法人セカンドハーベストジャパン(以下2HJ)が震災当時からサポートを続けている地域であり、フードバンク活動を通じ2HJと交流のあるニチレイフーズにお声掛けいただいたことから、食育プロジェクトメンバーを中心に参加しました。

当日は、ニチレイフーズの冷凍食品に野菜・フルーツなど各種栄養素を補う素材を使用し、ひと手間加えたアレンジメニューを紹介。参加者の方々と一緒に調理しました。「家

でもまた作って家族で食いたい」という嬉しい感想も多数いただくことができ、盛況のうちに終了しました。

生活の基盤としての“食料供給”のみならず、人と人をつなぐ“食卓”の提供のお手伝いをするこも、食品企業としての社会貢献の1つと考えています。今後とも、継続した活動にしていきたいです。



▲当社商品を使ったメニュー

◀調理風景

ニチレイグループの被災者への援助

●義援金拠出

ニチレイは、甚大な被害を受けた3地方自治体(岩手県、宮城県、福島県)に対して、2011年度より5年間、毎年1千万円ずつ合計1億5千万円の義援金を寄付する予定です。

また、グループ従業員有志の寄付による「ニチレイふれあい基金」から、1千万円を日本赤十字社を通じて寄付しました。昨年6月に開催した日本女子プロゴルフ協会公認トーナメント・ニチレイレディスでは入場料収入全額などを千葉県、千葉市へ寄付しました。

●物資の支援

ニチレイフーズは、救援物資として下記商品の無償提供を実施しました。商品は、宮城県と2HJを通じて被災者に提供されました。

ウェルネス商品	「カロリーナビ」シリーズ	7,380食
レトルト食品	レストランユース ビーフカレー(中辛)	21,450食
	レストランユース ビーフカレー(英国風)	3,780食
冷凍食品	焼成済冷凍パン 穴あきバケツ	48,000食
	蔵王山麓えびグラタン	1,152食
その他		350ケース

ニチレイフーズの食育

2010年度に発足した食育プロジェクトは、さまざまな“食育活動”を推進しています。2011年度の主な活動をご紹介します。

おいしさことば体験ブック

サクサク、パリパリ、ジューシー、こんがり・・・こんな言葉が商品名になっているものがニチレイフーズにはあります。食育プロジェクトでは、これらの「食経験を通じて表現されるさまざまなことば」を「おいしさことば」と名づけ、「おいしさことば」発信と「おいしさことば」を使った豊かなコミュニケーションの醸成をめざし活動しています。このことが、食の品質を見極める力や食を選ぶ力につながると考えています。昨年夏に『おいしさことば体験ブック』を発行しました。この体験ブックを使い、大人はもちろん、子供

たちも「おいしさことば」に触れ、体験し、コミュニケーションを楽しめるワークショップを開催しています。今後は、全国の工場や支社と共同し、より多くの場面で「おいしさことば」に触れていただき、食卓での会話やコミュニケーションがより豊かになり「笑顔の食卓」が広がる活動を推進していきます。



超高齢社会に向けた食育の試み

食育活動の対象は、子供たちばかりではありません。幅広い世代への食育活動を行っています。シニアへ向けた食育活動として、2011年12月～2012年3月



◀受講風景

に板橋区の高島平団地で住民を対象にしたセミナーを5社共同で開催しました。

出席者の口コミで回を重ねるごとに参加者が増え、3月のセミナーでは、55名のシニアの方が熱心に受講しました。

このセミナーでは、バランスのとれた食事を実際に食べながら、元気に過ごすための食事の工夫を学ぶとともに、色々な人が交流する機会づくりを試みています。そこで得られたニーズや生活者の皆様のご意見を事業活動にも活かしていきたいと思ひます。

Introduction

ニチレイフーズの売れ筋商品紹介とその商品を使った簡単な調理例をご紹介します。

おかげ様で発売 25 周年を迎えたロングセラー商品です。

1987年の発売以降、時代の変化を取り入れ、オーブントースター調理から電子レンジ調理へ、3添加物(着色料、保存料、化学調味料)不使用へと進化を続けてきた「からあげチキン」。

おいしさについても、「冷めてもやわらかジューシー」という基本設計を変えずに、お弁当用からあげの定番アイテムとして定着しました。2012年春も、お客様満足度調査の声を反映した改良品として、焦がし醤油を増量し香ばしさをアップさせることで、お弁当のご飯がより進む味つけに仕上げました。



からあげチキンのマリネ



材料 1人前

玉ねぎ 30g、にんじん 10g、グリーンリーフ 10g、かいわれ大根 3g、リンゴ酢 20cc、ワインビネガー 15cc、砂糖 10g、塩 2g、白こしょう 少々、オリーブオイル 20cc

●お弁当にGood! からあげチキン 3個

作り方

- ① からあげチキンは、パッケージ裏面を参照し、電子レンジで温めます。
- ② 玉ねぎ、にんじんを短冊切りにします。
- ③ オリーブオイルで②を炒めます。
- ④ リンゴ酢、ワインビネガー、砂糖、塩を入れ、5分間煮込みます。
- ⑤ 皿にグリーンリーフを敷き①の上に②のをせ、④を熱いうちにかけます。
- ⑥ 最後にかいわれ大根を飾り、白こしょうを振りかけて完成です。

株式の状況 (2012年3月31日現在)

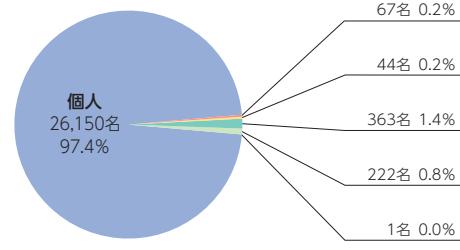
発行可能株式総数 720,000,000株
 発行済株式総数 310,851,065株
 ※発行済株式総数には、自己株式(16,054,266株)を含んでいます。
 単元株式数 1,000株
 株主数 26,847名

●大株主

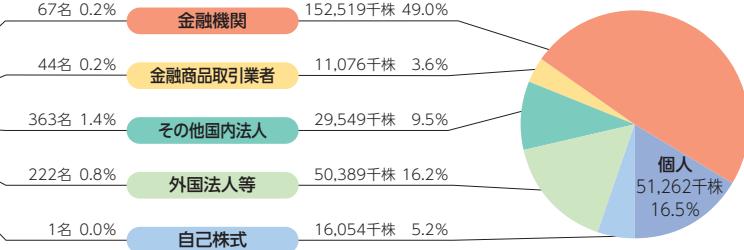
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	15,393	5.2
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	15,220	5.2
株式会社みずほコーポレート銀行	14,669	5.0
日本生命保険相互会社	13,435	4.6
株式会社損害保険ジャパン	11,059	3.8
株式会社三菱東京UFJ銀行	9,733	3.3
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	8,648	2.9
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー 505041	7,737	2.6
第一生命保険株式会社	5,716	1.9
みずほ信託銀行株式会社退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	5,598	1.9

(注) 1. 持株数は、千株未満を切り捨てて表示しています。
 2. 持株比率は、自己株式(16,054千株)を控除して計算しています。

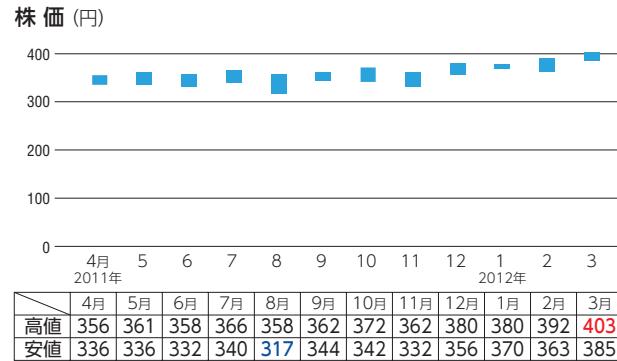
●所有者別株主数分布状況



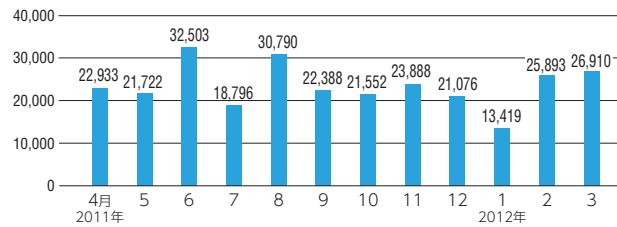
●所有者別株式数分布状況



●株価チャート



出来高 (千株・月間合計)



会社概要 (2012年6月26日現在)

社名 株式会社ニチレイ

所在地 〒104-8402 東京都中央区築地六丁目19番20号
 ニチレイ東銀座ビル

設立 1942年12月

役員 代表取締役 会長 浦野 光人
 代表取締役 社長 村井 利彰
 取締役 執行役員 河合 義雄
 取締役 執行役員 中村 隆
 取締役 執行役員 早間 元晴
 取締役 執行役員 池田 泰弘
 取締役 執行役員 大谷 邦夫
 取締役 執行役員 松田 浩
 社外取締役 判治 誠吾
 社外取締役 三品 和広
 社外取締役 谷口 真美
 常任監査役 (常勤) 三田 勇太郎
 監査役 (常勤) 山口 秀俊
 社外監査役 (非常勤) 齊田 國太郎
 社外監査役 (非常勤) 植野 道雄
 社外監査役 (非常勤) 岡島 正明
 執行役員 森 康益
 執行役員 田口 巧

会計監査人 新日本有限責任監査法人
 東京都千代田区内幸町二丁目2番3号 日比谷国際ビル



(株)ニチレイ本社ビル

<http://www.nichirei.co.jp/>
 情報満載のホームページ

事業紹介や株主・投資家向け情報はもちろん、皆様のお役に立つ商品・サービス情報を掲載しています。

